

指定管理者からの令和4年度事業報告概要

施設名	岡山県生涯学習センター
------------	-------------

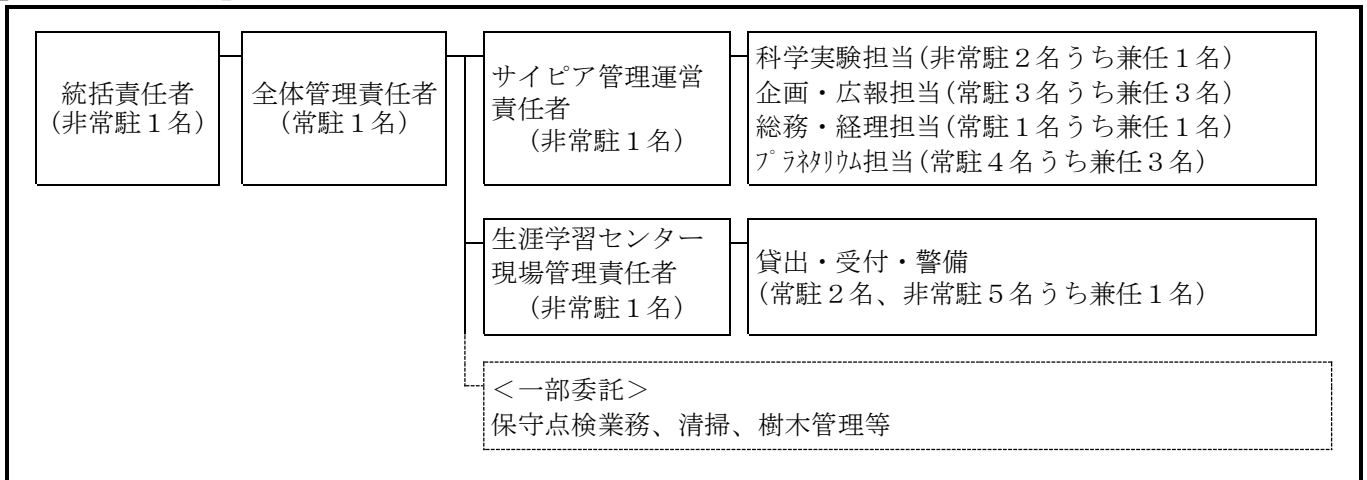
【指定管理者の概要】

名称	CRISコンソーシアム	代表者	代表者 牧野 康平
所在地	岡山県岡山市北区津島東一丁目4番1号		

【指定管理の概要】

指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	報告期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターの施設等の維持管理に関すること。 ・生涯学習センターの施設等の利用の許可に関すること。 ・人と未来の科学館サイピアの運営に関すること。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		施設等の利用 (件)	投影の観覧 (人)	合計 (件、人)
許可件数	4年度	3,188	35,250	38,438
	3年度	2,299	25,559	27,858
	増減	889	9,691	10,580

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・清掃業務 <li style="width: 50%;">・樹木管理業務 <li style="width: 50%;">・昇降機維持管理業務 <li style="width: 50%;">・遊具保守点検業務 <li style="width: 50%;">・空調設備保守業務 <li style="width: 50%;">・その他施設・設備保守点検業務
施設等利用許可業務 (4月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・受付、総合案内、監視・巡回業務 ・施設等の利用許可 (3,188件) [主な内訳] ミーティング室6室1,397件、大研修室274件等 ・プラネタリウム投影の観覧 (35,250人)
自主企画事業	・サイエンスショー、天体観望会等 7,462人

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	施設等利用料	投影の観覧料	合計
収入額	9,078,360	6,266,590	15,344,950
利用件数	3,188	35,250	38,438
減免額	4,068,390	2,593,470	6,661,860
減免理由	県が主催・共催した事業、学校教育活動等		

指定管理者からの令和4年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		4年度	対前年度増減額	3年度	備考
収入額 A		88,445,466	2,291,199	86,154,267	4年度収入額 その他の主なもの ・両立支援助成金 285,000円 【主な増減内容等】 (収入) 施設使用料の増 2,959,450円 プラネタリウム観覧料 の増 1,754,940円 コロナ関連助成金の減 △4,891,079円 (支出) 職員の育児休業取得に 伴う賃金・共済費の減 △2,313,624円 業務用PC更新に係る増 967,070円
内 訳	指定管理料	67,750,000	0	67,750,000	
	利用料金収入	15,344,950	5,295,530	10,049,420	
	事業収入	5,065,516	1,601,748	3,463,768	
	その他	285,000	△4,606,079	4,891,079	
支出額 B		83,425,577	1,099,622	82,325,955	
内 訳	人件費	32,992,753	△2,313,624	35,306,377	
	管理運営費	44,672,019	3,430,593	41,241,426	
	事業費	5,760,805	△17,347	5,778,152	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		5,019,889	1,191,577	3,828,312	
県への納入金		-	-	-	
実質的な県負担額		67,750,000	0	67,750,000	

【特記事項 (管理運営業務の実施状況の点検結果)】

点検項目	区分	特記事項 (評価すべき点・改善すべき点)
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B 事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	B 関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B 危機管理マニュアルに基づき、適切な管理・運営が履行されていた。
	④財産の適切な 管理	B 施設・設備の破損・紛失はなく、保守管理等が適切に履行されていた。また、プラネタリウムの定期的な点検を行うとともに、緊急時の対応のため、機材のメーカー等との連携を密にしている。
導入 効果	①利用状況	B 新型コロナウイルス感染症拡大により休館等の利用制限を行ったR3年度に比べると、施設貸出及び施設利用者数は大幅に増加した。 【利用者数】 センターR4:58,907人←R3:38,156人 (参考 R元:66,097人) サイピアR4:98,410人←R3:71,590人 (参考 R元:94,054人)
	②収支状況	A 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら施設の利用促進を行ったため、利用料金収入が増加し、収支状況は大幅に改善した。
	③サービス向上	B 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、自主企画事業や利用者アンケートを実施し、サービス向上に努めた。
管理運営業務全般	B	協定書、事業計画書等に基づき、適切な管理業務がなされ、サービス向上の取組も実施されていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。